

協会ニュース

2012年12月18日

中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)
TEL(082)532-6844 FAX(082)532-6845
e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp
URL; http://qmac.jp/

2012年度シンポジウム 人材育成

- ◆ 日時: 2012年12月18日(火) 13:20~17:10
- ◆ 会場: 広島商工会議所 101会議室
- ◆ 出席: 183名 29社・官・学

人材育成で重要なのは、製造業に限らず流通業でも接客業でもいかなる業界でも、そこで働く人々が自分の業務にやりがいを感じて、自己啓発に前向きに取り組むことだと考えます。

この度、サステナブル Zoom Zoom 宣言をしているマツダ株式会社様、食料・水・環境事業をグローバルに展開している株式会社クボタ様をお招きして、「人材育成」をテーマにしたシンポジウムを、平成24年12月18日、広島商工会議所において、183名の参加者のもと盛大に開催しました。

最初に「これからの自動車技術と、その研究開発のための人材育成について」と題し、マツダ株式会社の農沢 隆秀氏にご講演頂きました。企業が求める人物像は、「ブレークスルー」できる人物として、1を言うより10できる人より、初めの1を言う事ができる人が必要という切り口でお話を聞かせていただきました。また、プロの仕事は基本がきちんとできている。曖昧な言葉は仕事も曖昧にする。といった取り組み内容も大変興味深いご講演でした。

次に、「グローバル展開に伴う現場重視の人材育成の強化」と題し、株式会社クボタの 新井 洋彦氏にご講演頂きました。人材育成の基本的な考え方は、モノづくりの前に人づくりあり、人づくりなくしてモノづくりなしという切り口でお話を聞かせていただきました。また、5ゲン主義に基づき、現場へ行き、現場を通じて現実の姿を把握し、原理・原則という”物差し”と比較して、その差を発見して改善するという活動を実例でご紹介いただきました。大変興味のあるご講演でした。

講演の後、広島工業大学の 久保田 洋志名誉教授をコーディネーターとしてパネルディスカッションが開催されました。会場からの質問に対し、パネリストが回答することで、講演内容の深掘りが行われ、久保田名誉教授による解説とまとめが加わり、より深い理解を得る事が出来ました。

アンケート結果でも、参加者の理解度は高く、大変参考になったとの声が数多く聞かれ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



広島工業大学 久保田名誉教授



マツダ(株) 農沢所長



株クボタ 新井統括部長



パネルディスカッション風景



会場の様子
会場満席の参加を
いただきました